

1. 定点把握対象感染症の集計(上段:患者数, 下段:定点当たり患者数)

定点 (定点数)	感 染 症 名	保 健 所 支 所					第17週 合 計	2025年 累 計
		青葉	宮城野	若林	太白	泉		
急性呼吸器 感染症 (26)	急性呼吸器感染症 ※1	602 86.00	310 62.00	244 61.00	394 78.80	343 68.60	1,893 72.81	5,274
	インフルエンザ *	12 1.71	5 1.00	1 0.25	4 0.80	11 2.20	33 1.27	4,913
	新型コロナウイルス感染症 *	6 0.86	0 0.00	2 0.50	4 0.80	11 2.20	23 0.88	2,525
小児科 (15)	RSウイルス感染症 *	9 2.25	1 0.33	2 1.00	1 0.33	2 0.67	15 1.00	283
	咽頭結膜熱 *	1 0.25	1 0.33	1 0.50	0 0.00	0 0.00	3 0.20	197
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *	11 2.75	0 0.00	1 0.50	23 7.67	10 3.33	45 3.00	766
	感染性胃腸炎(小児科)	31 7.75	2 0.67	7 3.50	19 6.33	12 4.00	71 4.73	2,618
	水痘	3 0.75	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	3 0.20	108
	手足口病	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	17
	伝染性紅斑	15 3.75	4 1.33	9 4.50	8 2.67	8 2.67	44 2.93	1,004
	突発性発しん	2 0.50	0 0.00	0 0.00	1 0.33	0 0.00	3 0.20	73
	ヘルパンギーナ *	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0
	流行性耳下腺炎	3 0.75	1 0.33	0 0.00	0 0.00	0 0.00	4 0.27	28
	急性出血性結膜炎	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1
眼科 (6)	流行性角結膜炎	4 2.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	6 6.00	10 1.67	85
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0 0.00	0 0.00	-	0 0.00	0 0.00	0 0.00	6
基幹 (5)	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0 0.00	0 0.00	-	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0
	細菌性髄膜炎	0 0.00	0 0.00	-	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1
	マイコプラズマ肺炎	0 0.00	0 0.00	-	0 0.00	0 0.00	0 0.00	32
	無菌性髄膜炎	0 0.00	0 0.00	-	1 0.50	0 0.00	1 0.20	3
	マイコプラズマ肺炎(小児科)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.67	0 0.00	2 0.13	94
その他 (15)	川崎病	0 0.00	5 1.67	0 0.00	0 0.00	0 0.00	5 0.33	12
	不明発しん症	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.33	1 0.07	31

※1 急性呼吸器感染症(ARI)は、急性の上気道炎または下気道炎を指す病原体による症候群の総称です。* 印の感染症が含まれます。

※ 記載データは速報値です。

※ 令和7年4月7日より市内定点医療機関数に変更になりました。

2. 発生状況

1 全数把握対象感染症

結核 3例(肺結核 1例, その他の結核 1例, 無症状病原体保有者 1例), 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(A群), 侵襲性肺炎球菌感染症 1例, 水痘(入院例) 1例(第16週診断分), 梅毒 3例(早期顕症 I 期 1例[第16週診断分], 晩期顕症 1例, 無症候 I 期 1例), 百日咳 16例(うち第15週診断分 1例, 第16週診断分 2例)

2 定点把握対象感染症

(1) 特に増減が確認された感染症

新型コロナウイルス感染症:仙台市全体の定点当たり報告数は前週比-44%で4週連続減少した。

感染性胃腸炎(小児科):仙台市全体の定点当たり報告数は前週比-22%で4週連続減少した。

伝染性紅斑:仙台市全体の定点当たり報告数は前週比-2%で減少に転じたが、警戒を要する状況が続いている。

(2) 入院患者の発生状況(基幹定点)

① インフルエンザによる入院患者 2例

② 新型コロナウイルス感染症による入院患者 12例

(3) 病原体定点医療機関からの検体の提出状況

ヒトメタニューモウイルス 2件(第15週採取分), RSウイルス 2件(第15週及び第16週採取分), パラインフルエンザウイルス 4件(第15週採取分1件, 第16週採取分3件), アデノウイルス 2件(第15週及び第16週採取分) ライノウイルス/エンテロウイルス 2件(第16週採取分), SARS-CoV-2 2件(第16週採取分), インフルエンザウイルス 1件(B型[第16週採取分])

3 特記事項(2025年4月27日現在)

～百日咳～

仙台市内では報告数が急増しており, 今回は新たに16例の報告が確認されました。全国的にも増加傾向が続いていることから, 今後さらなる感染拡大が懸念されます。

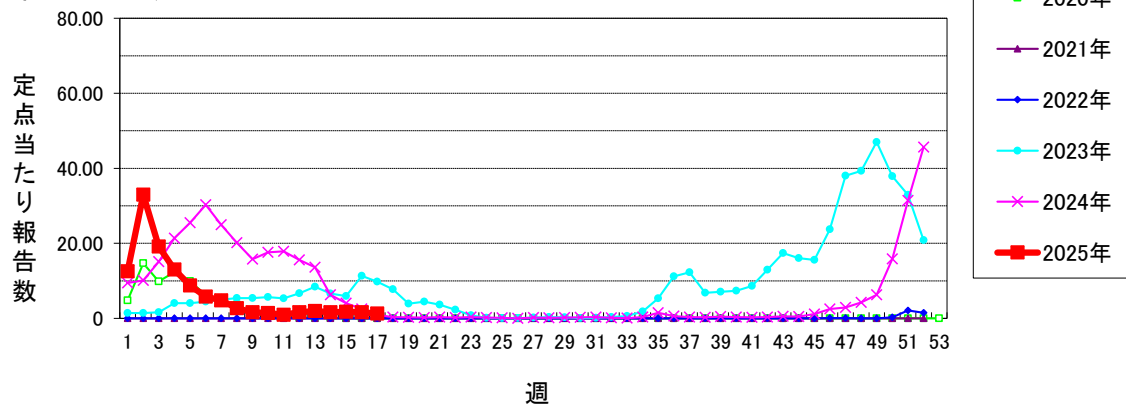
百日咳とは, 百日咳菌の感染によって, 特有のけいれん性の激しい咳発作を特徴とする急性の感染症です。かぜ症状で始まり, 次第に咳の回数が増え, 程度も激しくなります。世代を問わず感染する可能性がありますが, 年齢が小さいほど症状は多様で, 乳児期早期では特徴的な咳がなく, 単に息を止めているような無呼吸発作からチアノーゼ(顔色や唇の色や爪の色が紫色に見えること), けいれん, 呼吸停止と進展することがあります。合併症としては肺炎や脳症などもあり特に乳児では注意が必要です。

百日咳は人への感染力が非常に強い感染症です。家族や周囲で百日咳と診断された人がいた場合, 本人にかぜ症状が出現した際は, 医師に百日咳の患者と接触があったことを伝えたくて早目に受診してください。

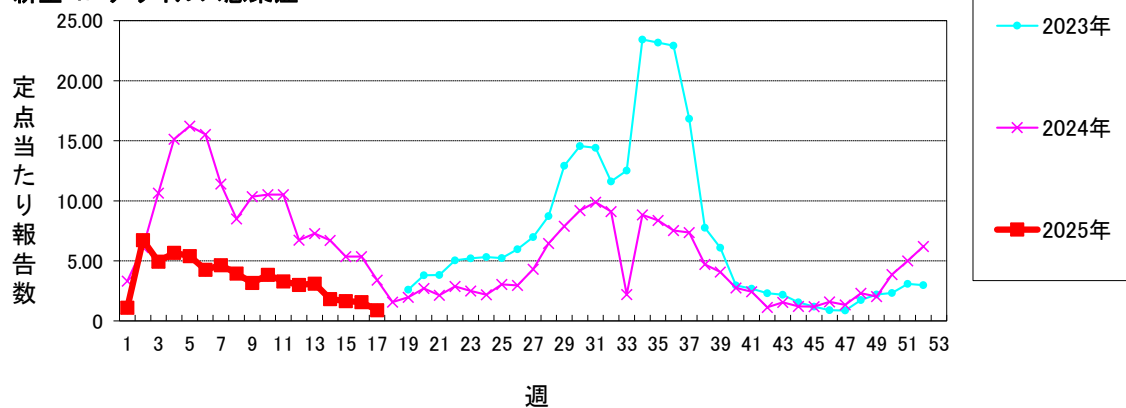
仙台市定点週報告対象疾病の推移(1)

〈2025年 第17週〉

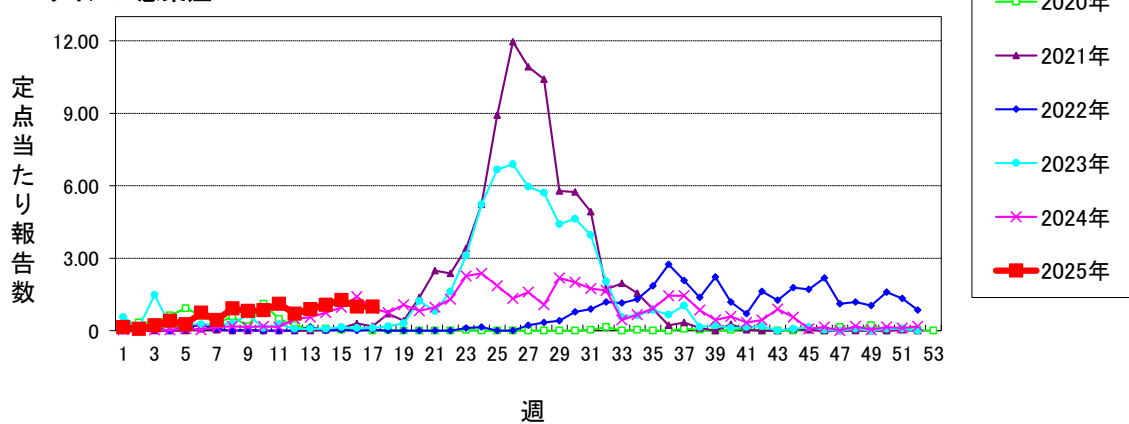
インフルエンザ



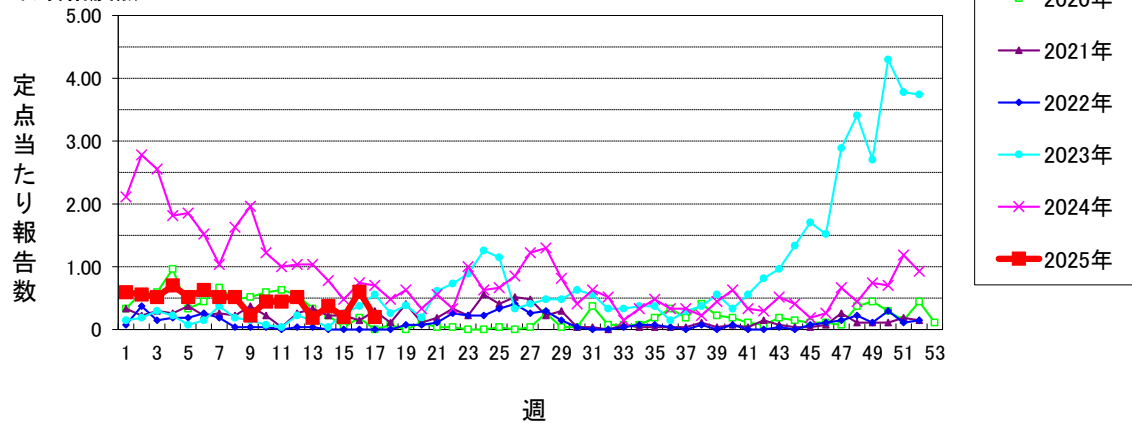
新型コロナウイルス感染症



RSウイルス感染症



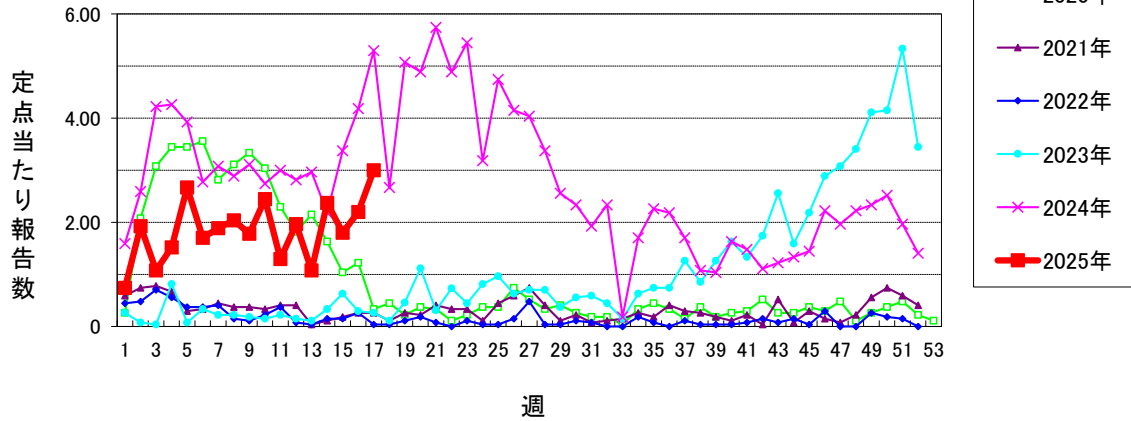
咽頭結膜熱



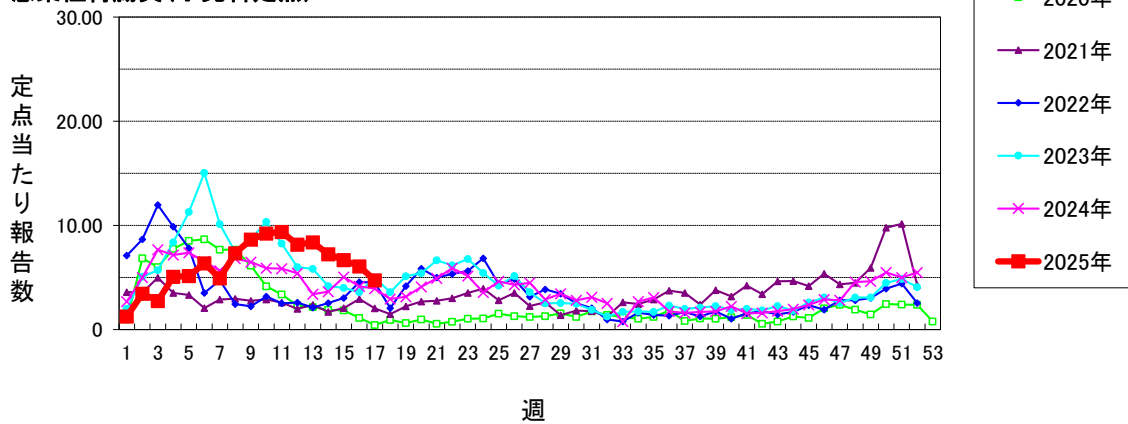
仙台市定点週報告対象疾病の推移(2)

〈2025年 第17週〉

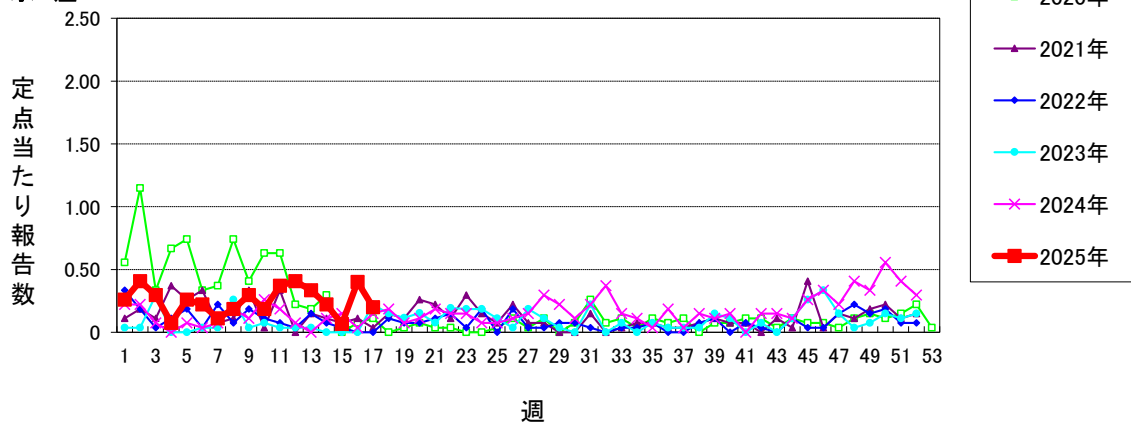
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



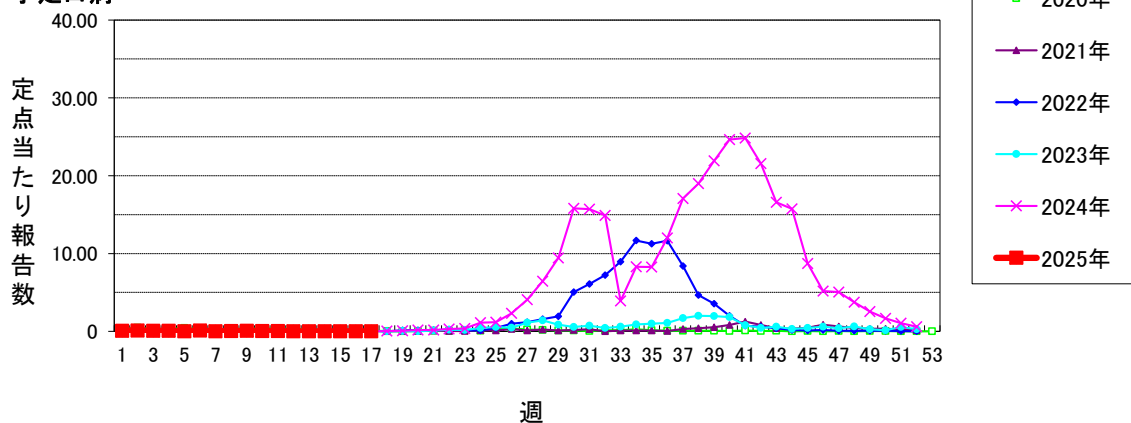
感染性胃腸炎(小児科定点)



水痘



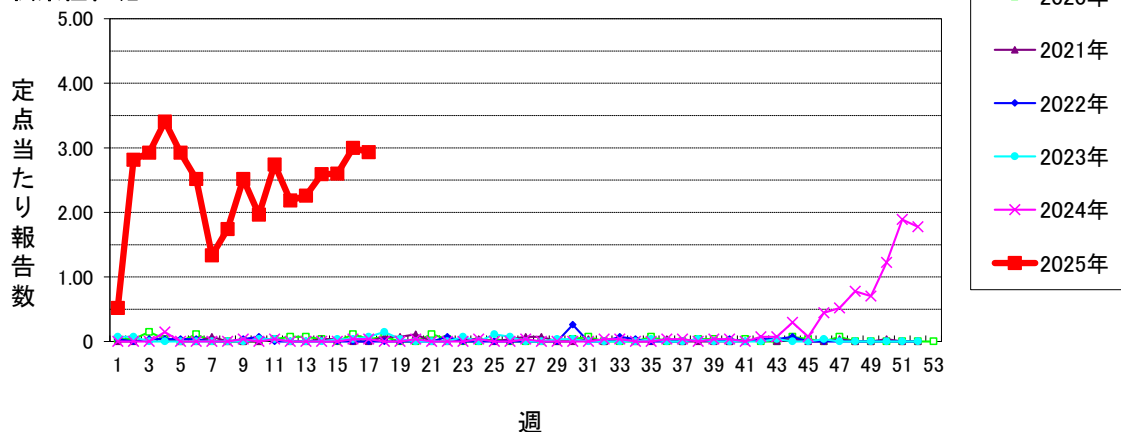
手足口病



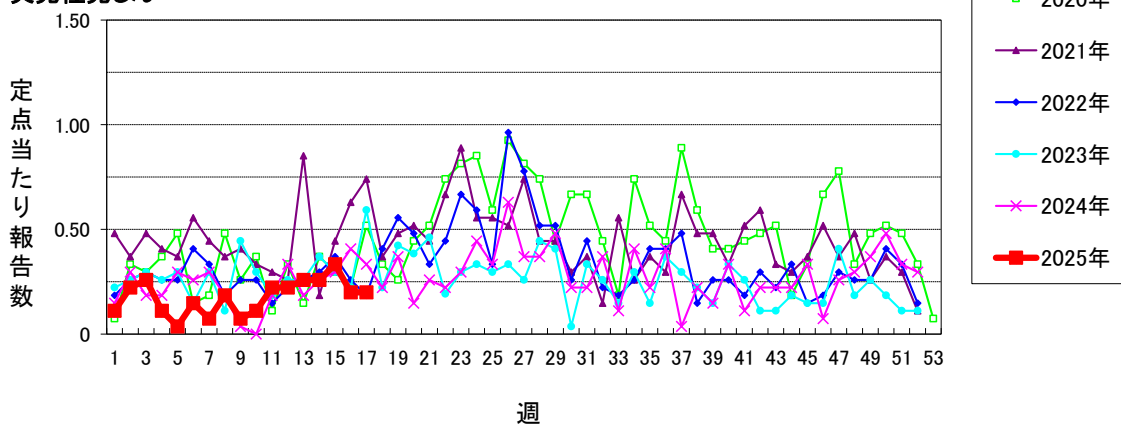
仙台市定点週報告対象疾病の推移(3)

〈2025年 第17週〉

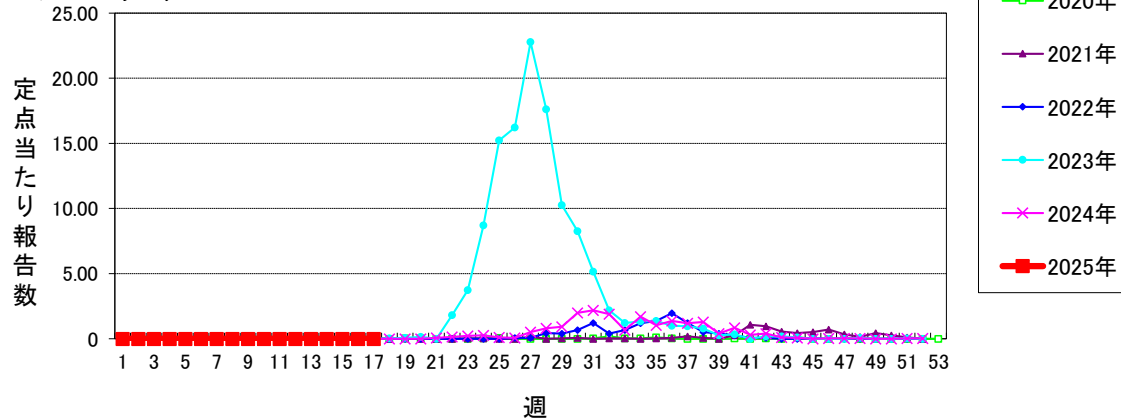
伝染性紅斑



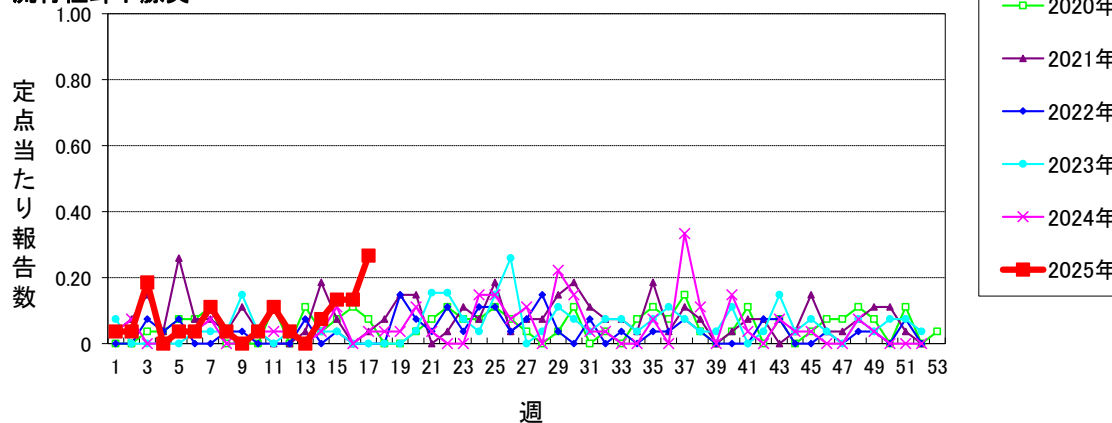
突発性発しん



ヘルパンギーナ



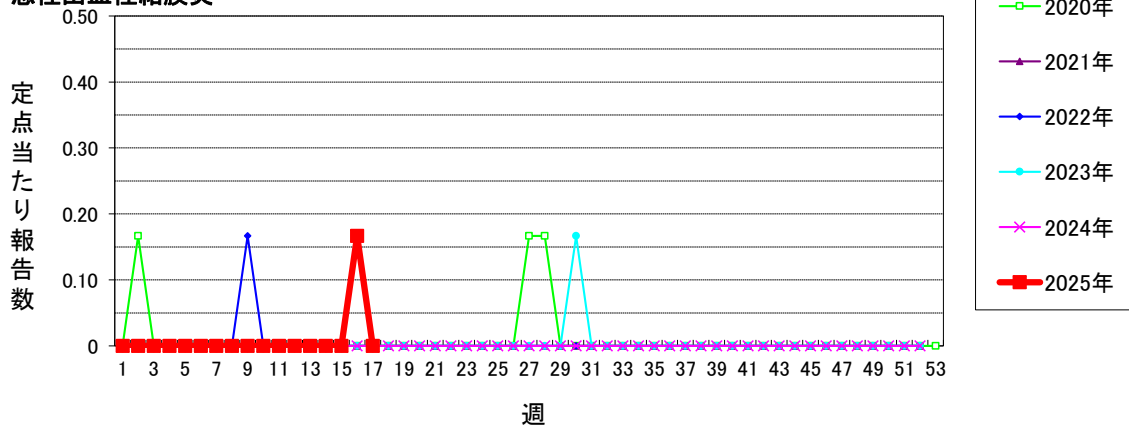
流行性耳下腺炎



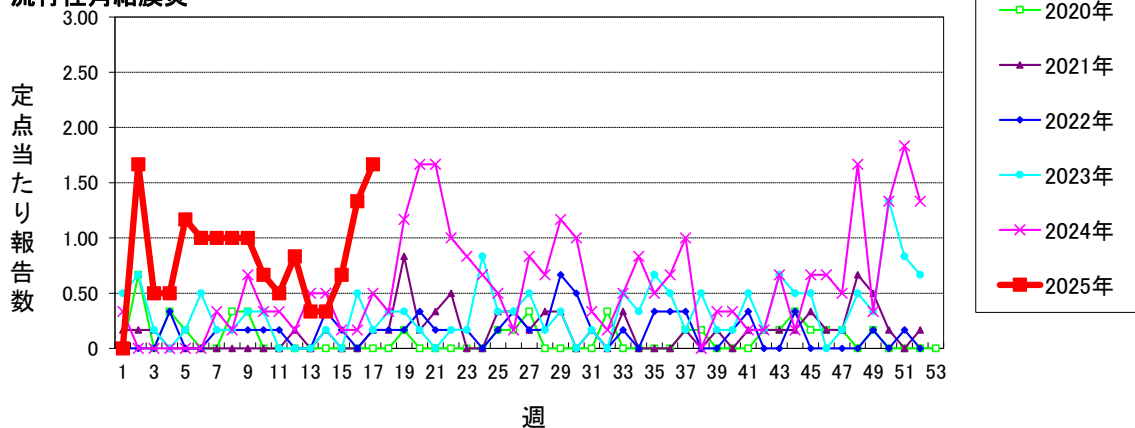
仙台市定点週報告対象疾病の推移(4)

〈2025年 第17週〉

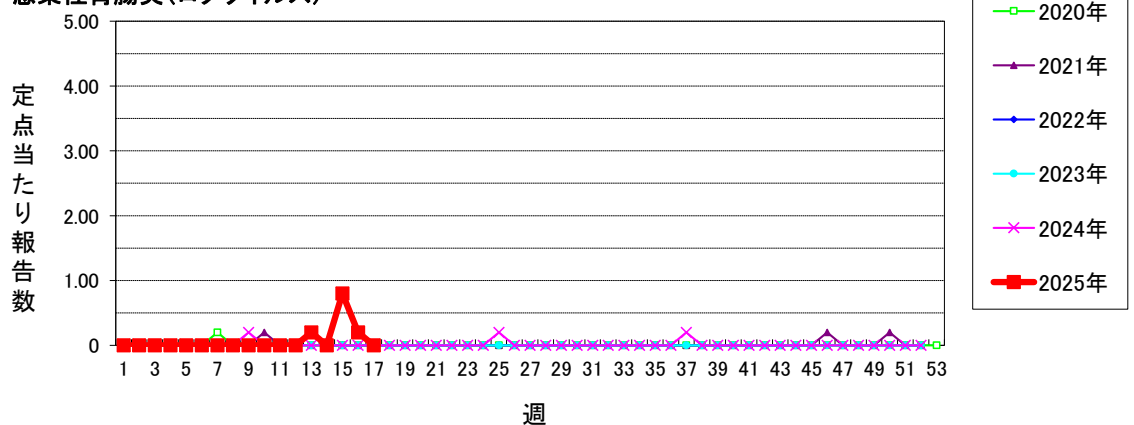
急性出血性結膜炎



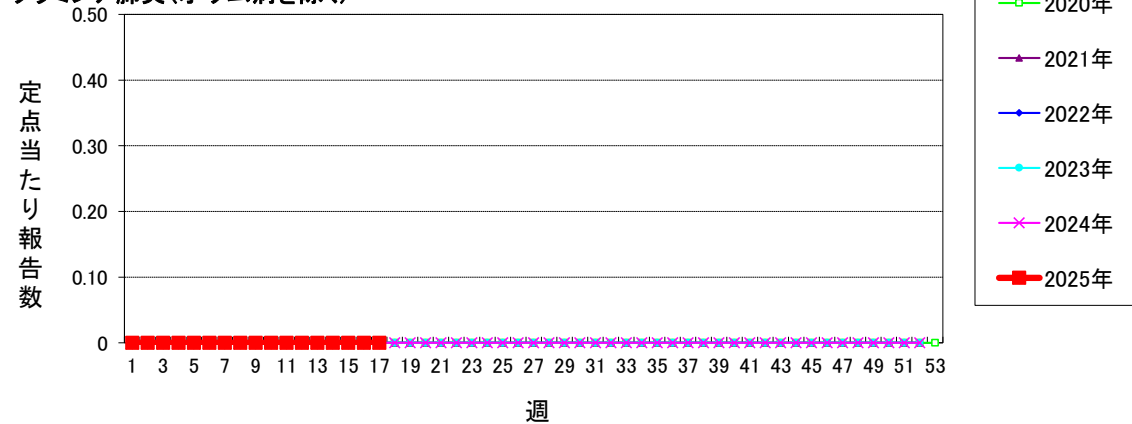
流行性角結膜炎



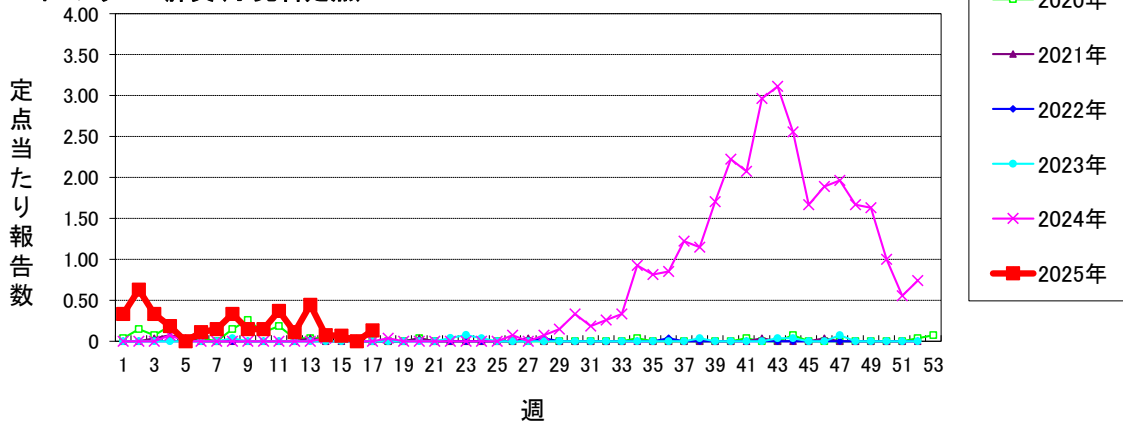
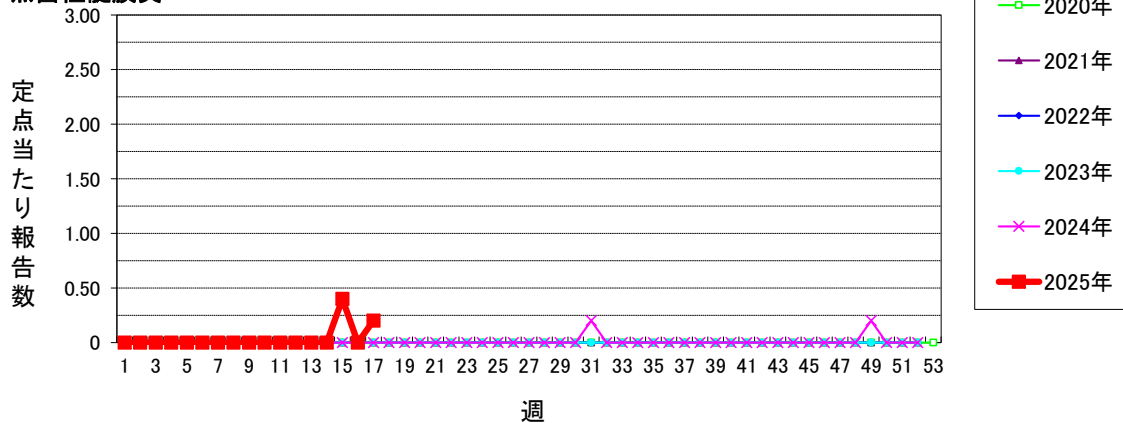
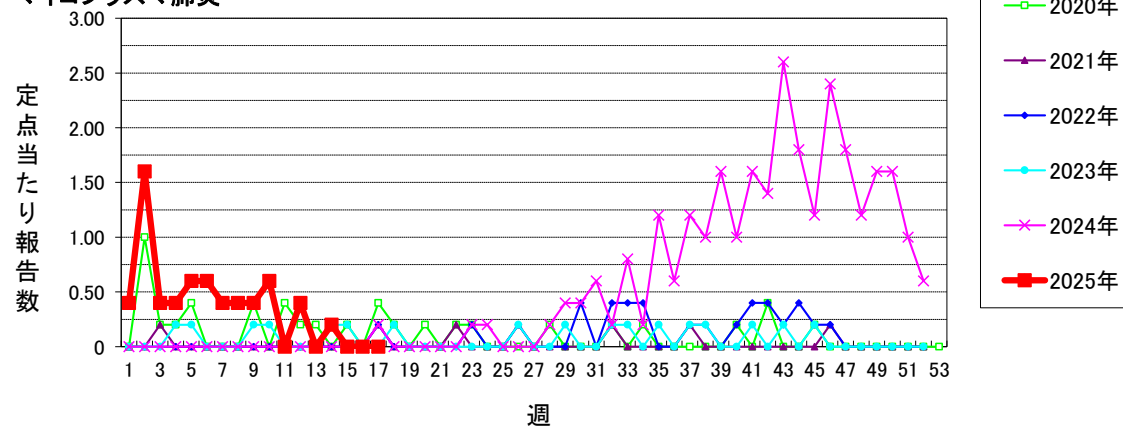
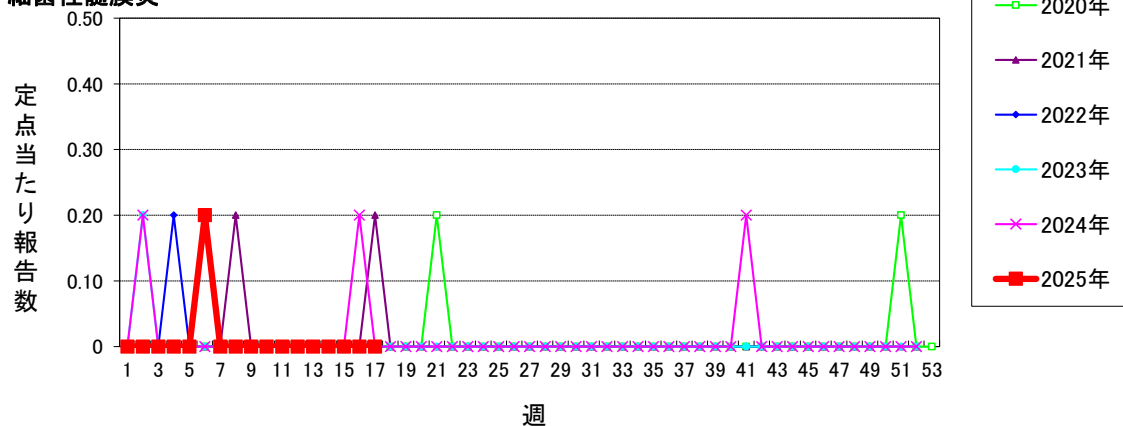
感染性胃腸炎(ロタウイルス)



クラミジア肺炎(オウム病を除く)

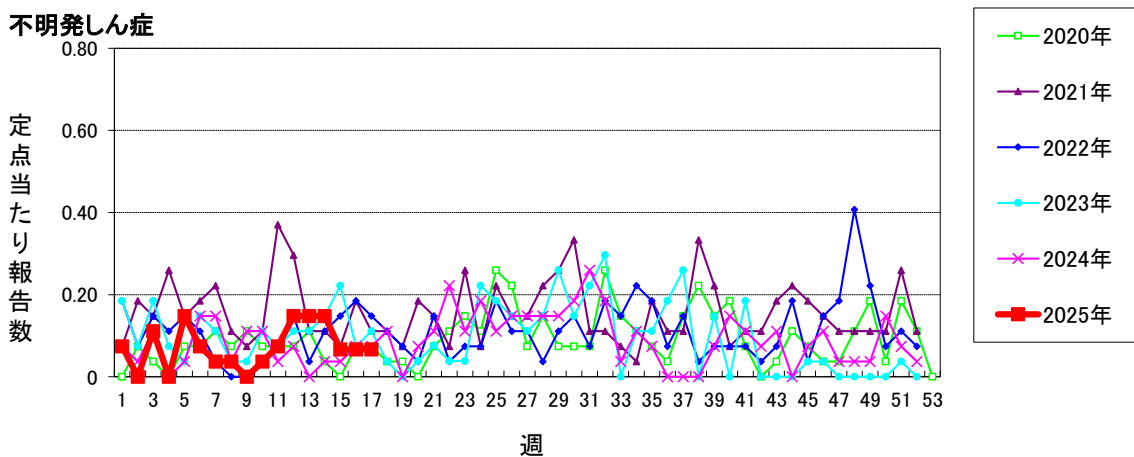
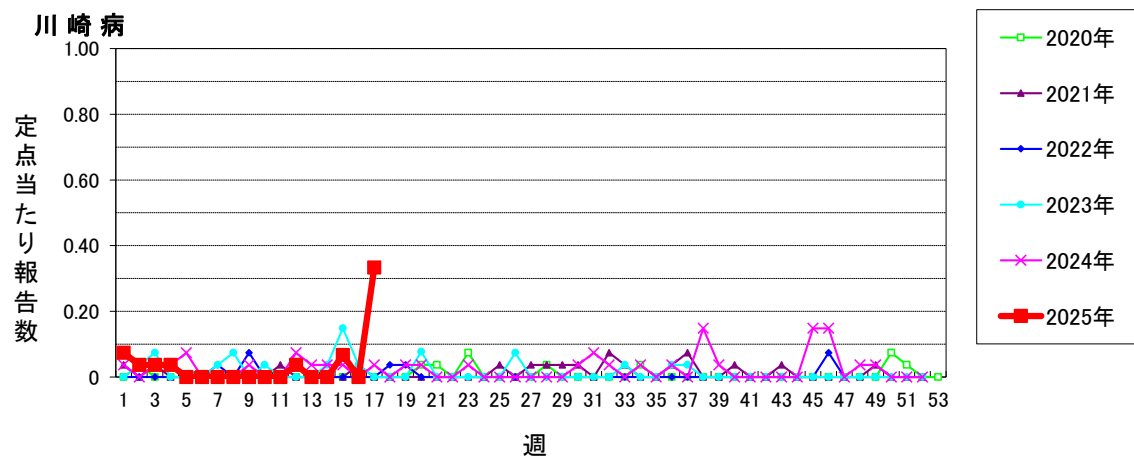


〈2025年 第17週〉

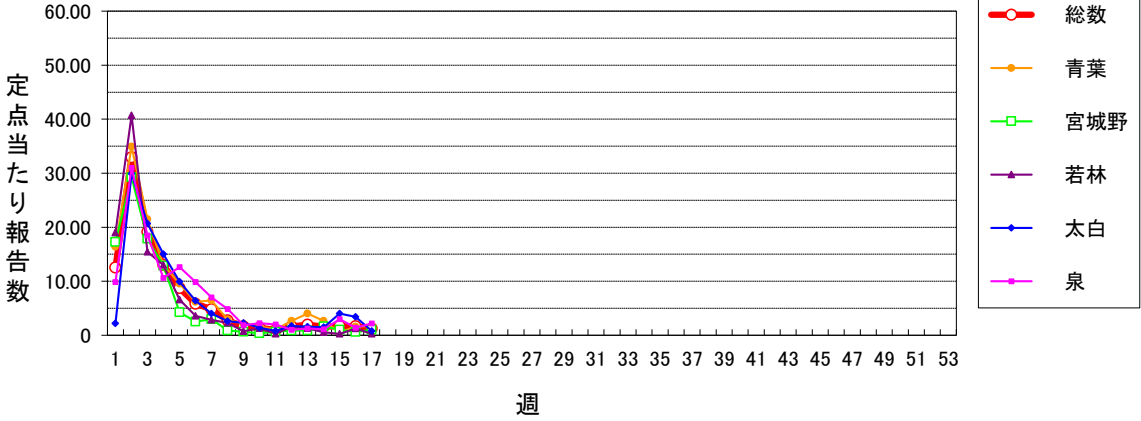


仙台市定点週報告対象疾病の推移(6)

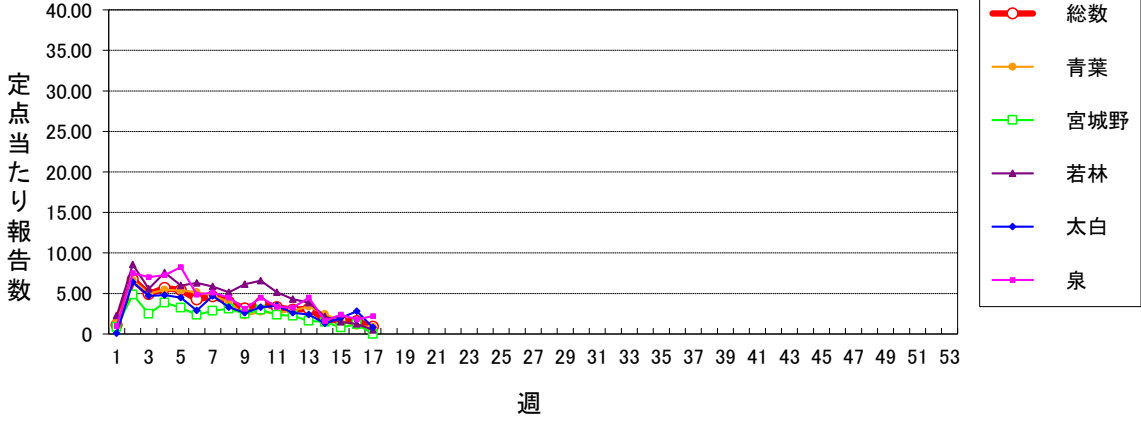
〈2025年 第17週〉



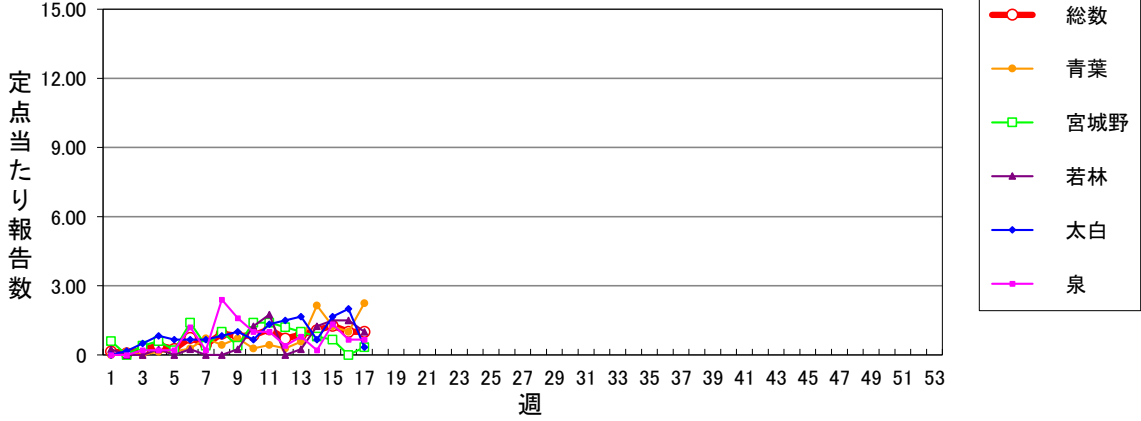
インフルエンザ



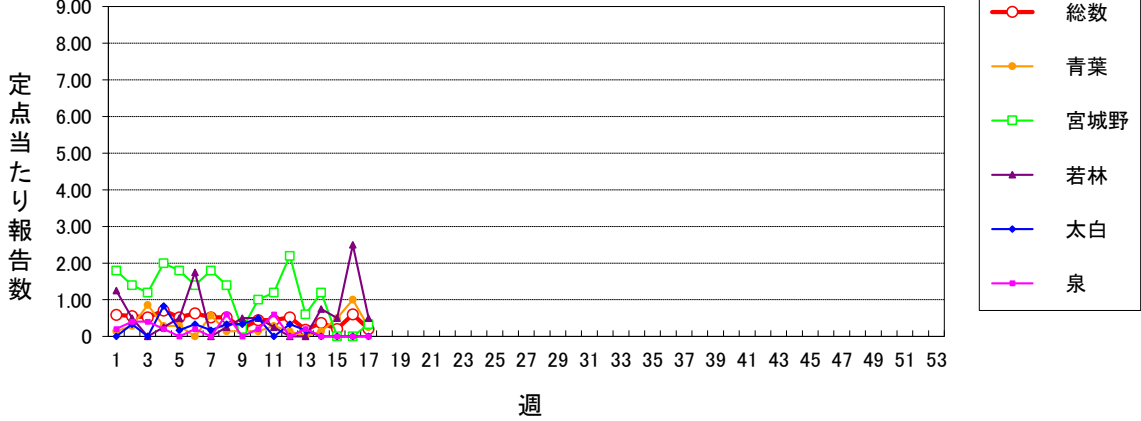
新型コロナウイルス感染症



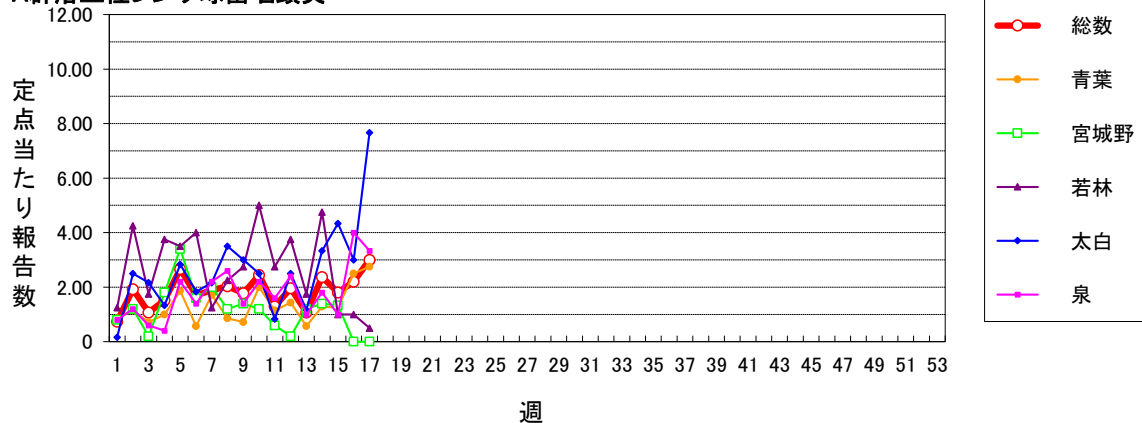
RSウイルス感染症



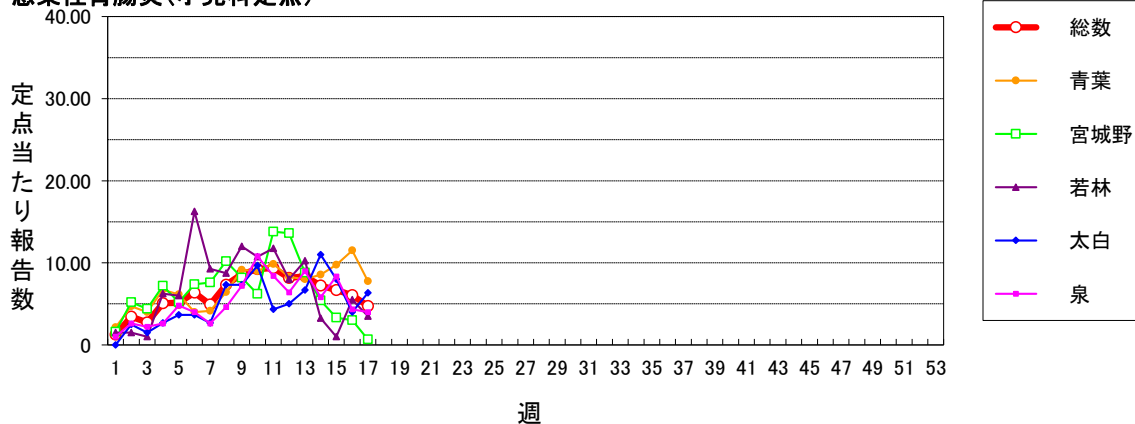
咽頭結膜熱



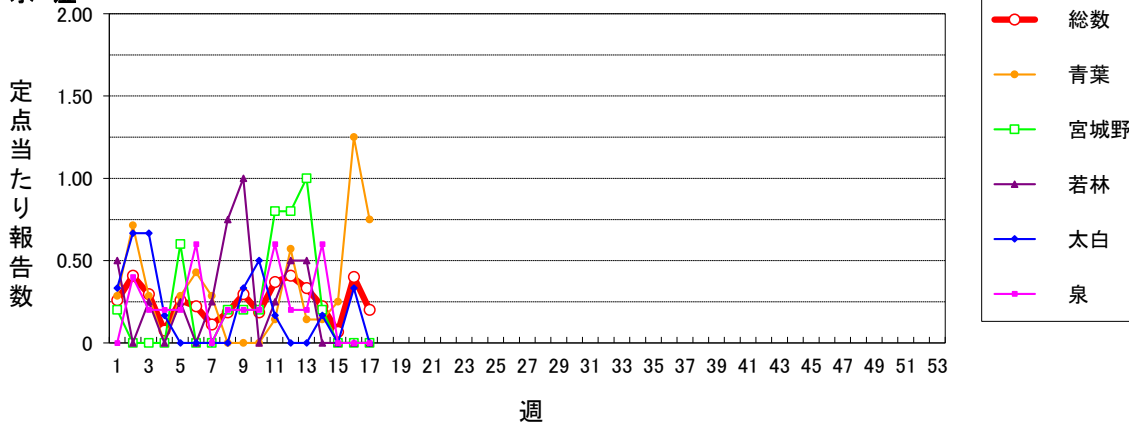
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



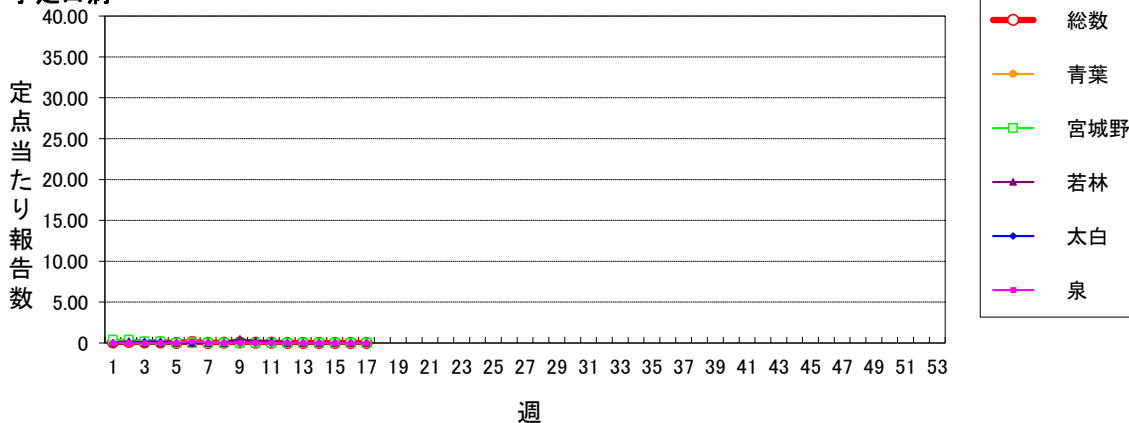
感染性胃腸炎(小児科定点)



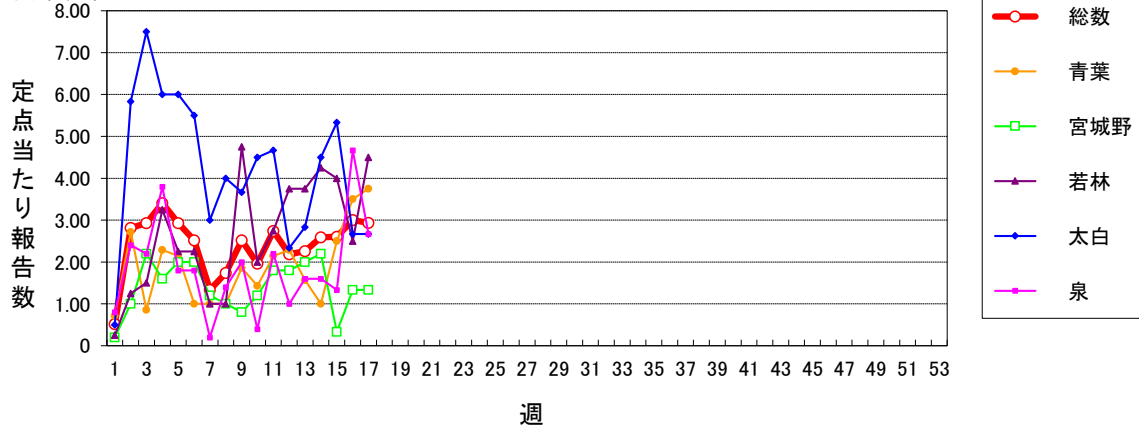
水 痘



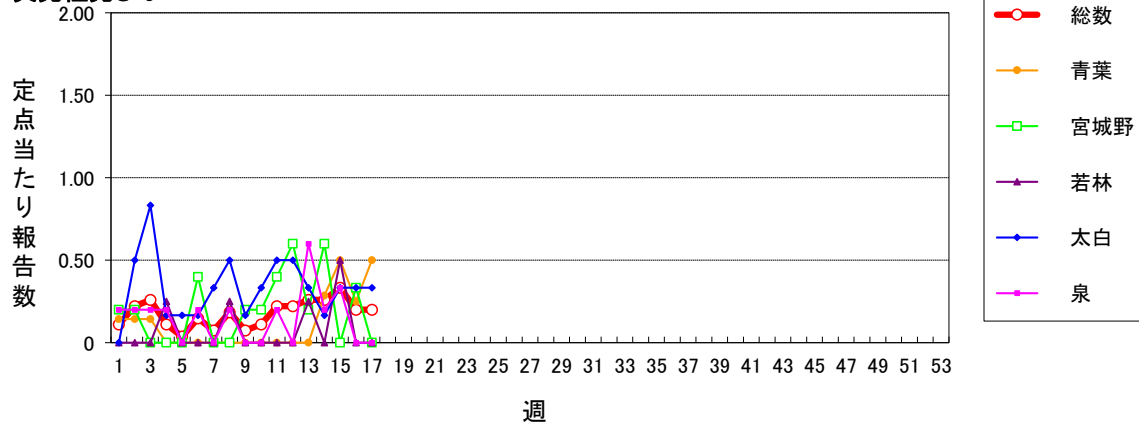
手足口病



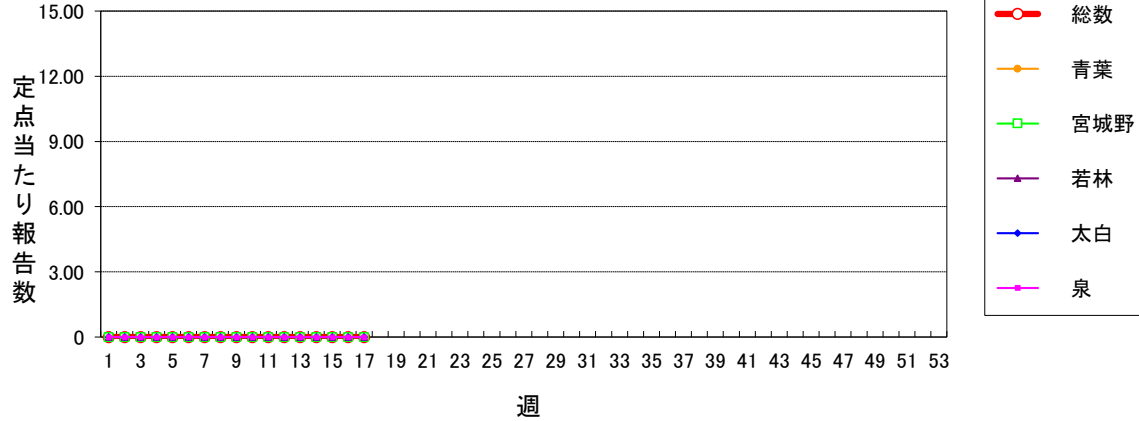
伝染性紅斑



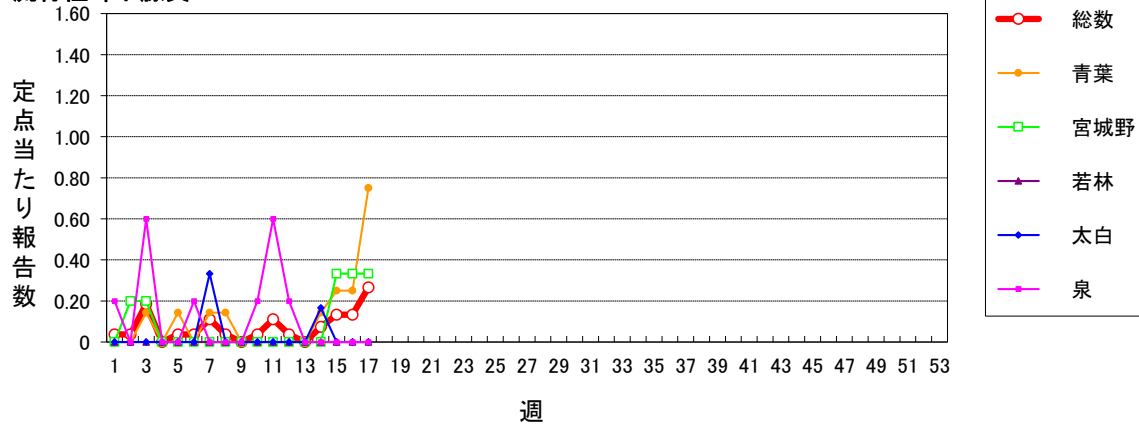
突発性発しん

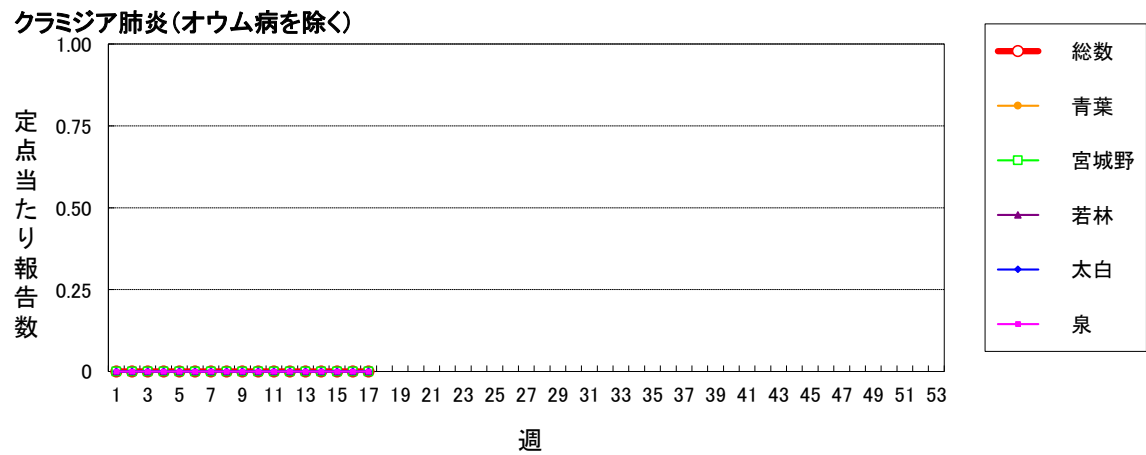
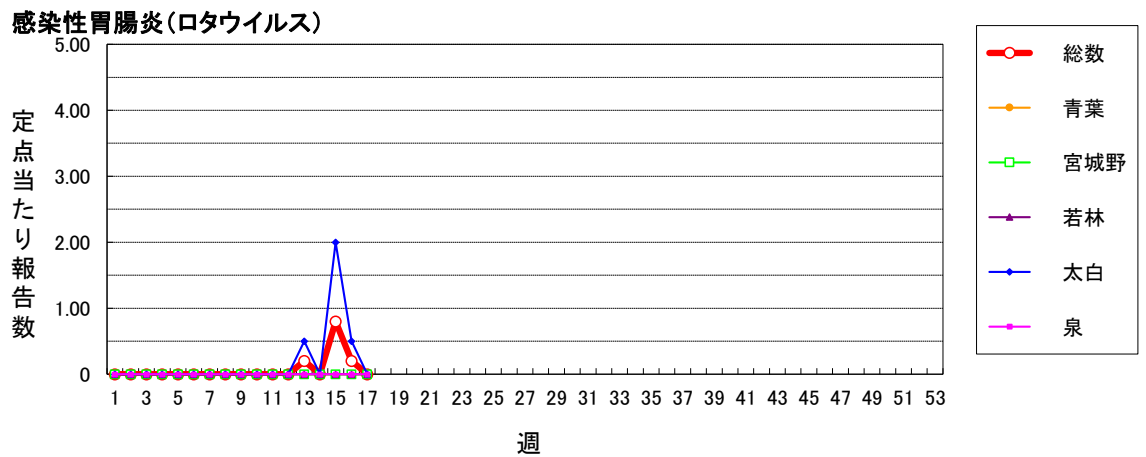
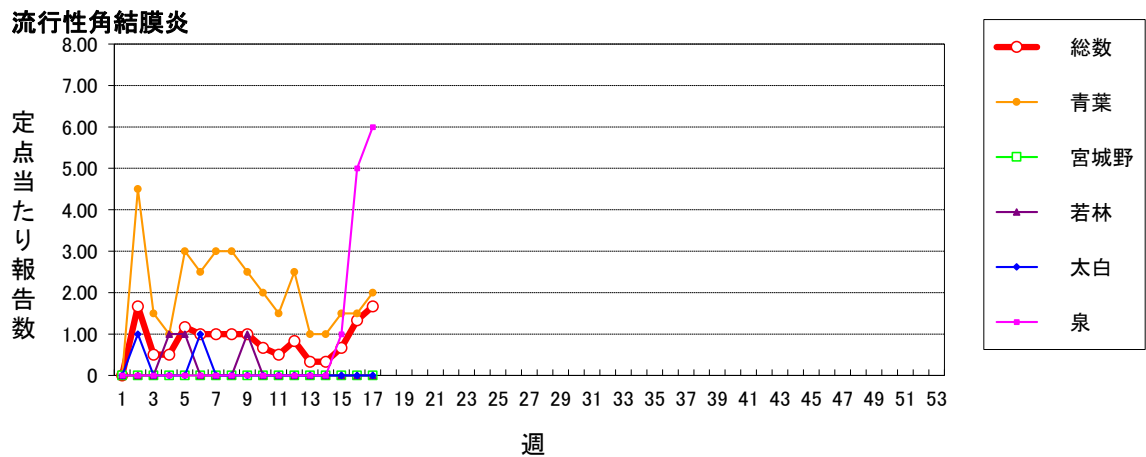
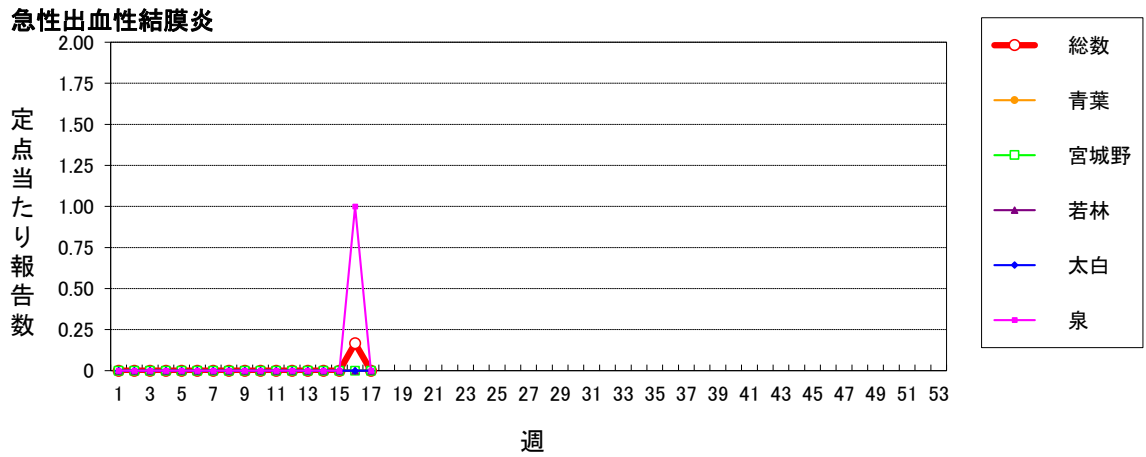


ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎

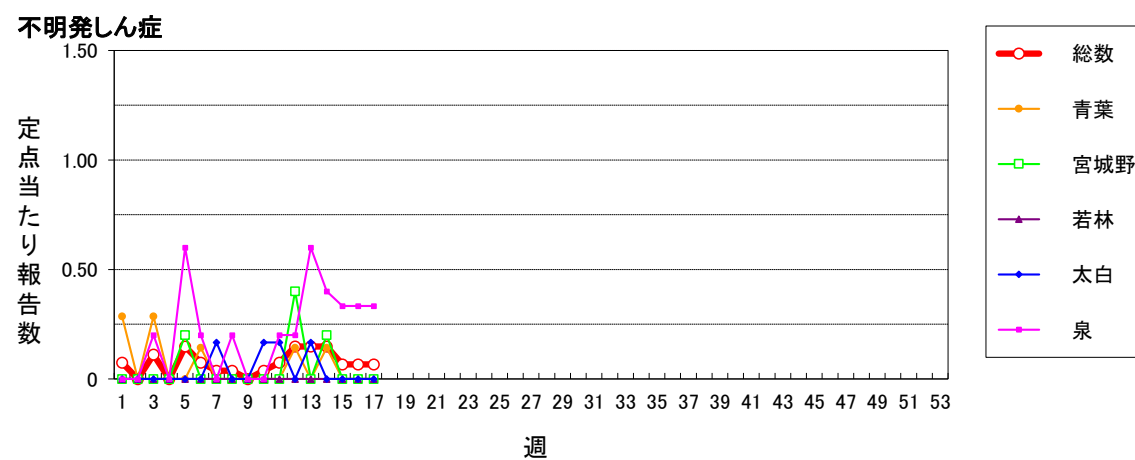
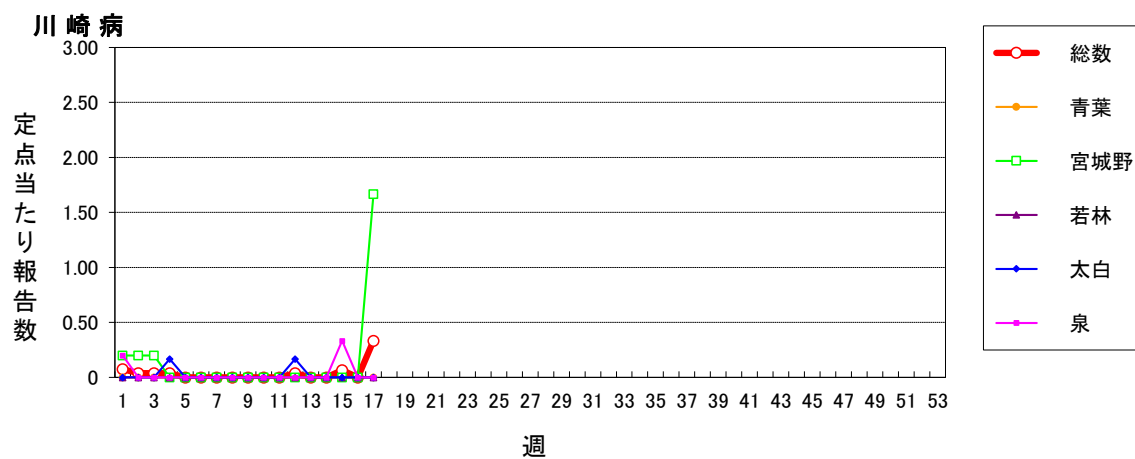




〈2025年 第17週〉



〈2025年 第17週〉



2025年仙台市全数報告感染症発生状況

[illegible]

注) 医師の診断日による分類